

被災地域の地域協議会による生産体制整備
～熊本の取り組み～

令和4年度活動報告

熊本県地域木造住宅生産体制強化地域協議会
(事務局) 一般社団法人 熊本県建築士事務所協会

熊本地震後の復興について（6年9ヶ月経過）

すまいの再建について

令和2年3月末に完成した災害公営住宅への移転、自宅再建が進み、令和4年11月30日現在で8戸21名の方が応急仮設住宅等の入居されている。

益城中央被災市街地復興土地区画整理事業

第14回土地区画整理審議会が令和4年10月27日に実施され、第9期仮換地指定が終了。
令和4年12月10日時点で仮換地指定79%、工事着手51%、宅地引渡し29%の状況。

その他の復興について

地震で被災した益城町及び宇土市の新庁舎が令和4年度中に完成

（益城町は令和5年3月上旬、宇土市は令和5年2月上旬完成予定）

南阿蘇村に熊本地震震災ミュージアム中核拠点施設が令和5年度に完成予定。

熊本復興プロジェクトとして、ワンピース像を被災地に設置（熊本県庁、熊本市動植物園、益城町、阿蘇市、御船町、高森町、西原村、南阿蘇村）

県南豪雨災害の被害状況・復興について（2年6ヶ月経過）

住家被害の状況（R4.3.31現在）

被害区分	棟数
全壊	1,493
半壊	3,117
床上浸水	286
床下浸水	420
一部損壊	2,098

仮設住宅の入居状況（R4.6.27時点）

世帯数	人数
1,195	2,618

災害公営住宅等の整備（5市町村、12地区で整備）

市町村	地区	戸数	入居時期	整備状況
相良村	西原	2	令和4年12月	工事完了
球磨村	渡	60	令和5年7月	工事中
八代市	藤本他3地区	10	令和5年7月～9月	設計中
人吉市	相良町	120	令和6年1月	設計中
芦北町	佐敷・湯浦	21	令和5年7月	設計中
球磨村	一勝地	8	令和5年5月	設計中
八代市	坂本支所	12	令和7年度中	検討中
人吉市	東校区	45	令和6年1月	検討中
球磨村	神瀬	6	令和5年7月	検討中

※熊本県では、令和6年3月には全ての住まいの再建に目処が立つよう支援を進める。

くまもと型復興住宅建設実績について

くまもと型復興住宅 地域住宅生産者グループの発足時（平成29年1月18日）から令和4年12月31日までの建設実績

687件



令和4年度事業への取り組みについて

企画1 くまもと型復興住宅ガイドブック等の増刷及び配布

企画2 被災地の住まいづくりの支援

企画3 マッチングサポート事業の実施

企画4 地域型復興住宅推進協議会の運営

令和4年度事業への取り組みについて

企画1 くまもと型復興住宅ガイドブック等の増刷及び配布

令和2年7月県南豪雨災害被災地及び、平成28年熊本地震で被害の大きかった益城町の土地区画整理事業に伴う住まいの再建を希望されている被災地者の方々のために、関係市町村と連携を図り、住まいの再建の参考としてガイドブック等のツールを活用したくまもと型復興住宅の周知を行う。

建材費等の価格高騰に伴い、建設費の改訂を行ったガイドブックを令和5年1月に改訂・発行。益城町及び豪雨被害を受けた市町村及び関係機関に配布。

また、住宅の再建を検討している被災者の皆様に「くまもと型復興住宅」の周知を行うため、地元新聞広告に掲載。

掲載新聞：熊本日日新聞

掲載日：令和4年8月31日（水）朝刊



令和4年度事業への取り組みについて

企画2 被災地の住まいづくりの支援

令和2年7月県南豪雨災害被災地及び、平成28年熊本地震で被害の大きかった益城町の土地区画整理事業に伴う住まいの再建を希望されている被災者の方々のために、関係市町村と連携を図り、住まいの再建（くまもと型復興住宅、くまもと型伝統工法による木造住宅プラン、やっちょろ型復興住宅、人吉・球磨型復興住宅）に関する現地相談会、現地見学・相談会への対応を行う。

現地見学・相談会実施日

令和4年10月29日（土）・30日（日）熊本市内

令和5年1月20日（金）人吉市内

令和5年1月22日（日）八代市内

やっちょろ型復興住宅・人吉球磨型復興住宅・くまもと型伝統構法案内パンフレット



住宅再建相談会・現地見学会



住宅再建相談会（八代市）

令和4年度事業への取り組みについて

企画3 マatchingサポート事業の実施

住まいの再建を検討され住宅事業者を決められていない被災者の方々へ、案内チラシ等によりマatchingサポート事業の周知を行い、お申込者へくまもと型復興住宅の地域住宅生産者グループを紹介し、できるだけ早く住まいの再建が出来るよう支援する。

高森町営学生寮【たかもり時空和（ときわ）ベース】事業
熊本県立高森高等学校に令和5年度からマンガ科新設に伴う女子寮の整備についてくまもと型復興住宅を活用（新築3棟）

構造及び規模：木造平屋建て・83.74㎡

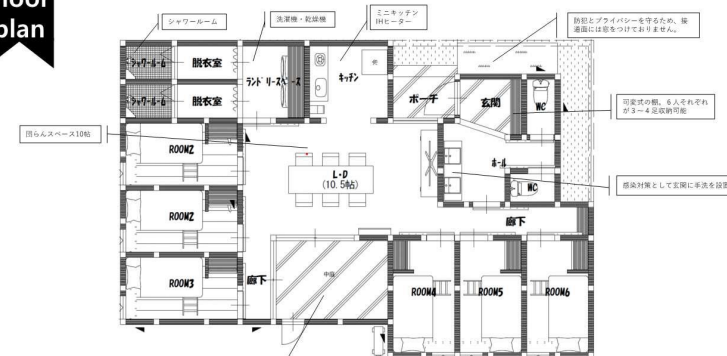


TAKAMORI
HIGHSCHOOL
Women's Dormitory
熊本県高等学校 女子寮



SIMPLE NOTE
株式会社古木精七商店

Floor
plan



SIMPLE NOTE
株式会社古木精七商店

令和4年度事業への取り組みについて

企画4 地域型復興住宅推進協議会の運営

被災者の皆様の住まいの再建に関する情報等を協議会のメンバーで共有するため、推進協議会を開催し、関係行政と連携しながら住まいの再建の推進する。

日 程：令和4年7月14日（木）

場 所：ホテル熊本テルサ

出席者：熊本県、住宅金融支援機構、推進協議会構成団体

協議事項：令和4年の取り組みについて

今後、水害時に垂直非難ができるような安全対策を考えたプラン、建築物省エネ法に対応したプランの検討等が必要との意見が出た。



令和5年度の取り組みについて

(1) 住宅再建相談会の実施

県南豪雨災害の被災者及び、益城町の仮換地指定が完了して住宅の再建を検討している被災者の皆様に向けた住宅再建相談会の実施。

(2) マッチングサポート事業の実施

住宅の再建を希望しているが、事業者が見つからないという被災者がスムーズに再建を行えるよう、本事業の周知・相談対応等を実施していく。また、住宅以外の民間建築物・公共建築物等への活用を推進していくため、施設担当者等からの相談・支援対応の実施。

(3) 水害・省エネ・リフォーム等に対応した新しいくまもと型復興住宅の提案

水害の際の安全対策を考慮したプランや、令和4年6月17日に公布された「建築物改正省エネ法」に対応した新しい「くまもと型復興住宅」の提案及び、既存の住宅を残しつつ、リフォーム・改修等をされる被災者に向けた「リフォーム方法」等の紹介。

(4) 地元建築士事務所及び関係団体との連携

地元設計事務所や工務店、関係団体と連携を図り、防災の周知・くまもと型復興住宅の普及・促進を図る。

おわりに

熊本地震及び県南豪雨災害の発災から、多くの御支援・御協力をいただき、誠にありがとうございました。

行政及び関係団体と連携を図りながら、被災地の復旧・復興に取り組んで参りますので、引き続き皆様の御支援・御協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。